

週寫
報眞

情報局編輯
四月廿八日 第二六九號



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

強靱な體力は明日の戦力を倍加する
 米英撃滅のわが兵力も、わが生産力も
 みなこの腕、この體に懸つてゐる
 陛下の赤子、ひとりひとりが
 日本を伸ばす大事な國力だ
 今、この時
 街でも、村でも、家でも、戦場でも
 自らを挺して
 健民實踐の誠を盡さう

(健民運動に寄す)

健兵の母を鍛へよう

健民運動

五月一日—十日

「時の立札」は他へ轉載その儘に印刷用下され



前へ、あと、あと、
 前へ、突けッ！『ヤア
 フ』と昂を響くやうな
 氣合とともに櫻吹雪く
 神社の境内で銃剣術に
 身體を鍛へてゐるのは
 千葉縣夷隅郡中根村四
 塚部落の主婦たちであ
 る。若きは田中チエさ
 んの十六歳から老いは
 六十九歳の杉崎キチさ
 んまで、五十三名は今
 し銃を握つて堂々の行
 進を起してゐる。女だ
 てらにあらぬもない、
 一時的ななきさみだと
 か、この竹槍練成に投
 げつけられた四方から
 の罵聲もいまは昔の語
 り歌である
 かつて、三年間に亘
 つてこの村から一人の
 入營兵を出さなかつた
 恥辱に奮起した主婦た
 ちの『健兵は過しい母
 體から……』の決意は
 固かつた。以來、各部落
 單位の婦人對抗運動會
 が催され、村道の修理
 や村有林清掃の勤勞奉
 仕などは、母を鍛へる
 立場から、總て主婦の
 手によつて行はれた。
 この竹槍練成も昭和十
 六年春からとり上げら
 れ、既に滿二年間続け
 られてゐる



生だん子は必ず育つ

千葉縣中根村

保健婦の末吉さんは「また一人妊婦が増えた」とカードに登録しながら喜んでゐる



健康特別指導地区に指定されてゐる中根村は、村民が打つて一丸となり健康運動の實踐に努めてゐるが、村民全體が「必ず實行」する五箇條の健康申合せの中に、一、出産率の向上と乳幼児死亡率の低減に總ゆる努力を致すこと、といふ一條がある。従來、この村に乳幼児死亡率の非常に高い時期があつた。この苦い経験から、また戦時下の資源の緊縮の増強から現在では生れた子供は絶対に死なせない、いや生れるのを漫然と待つてゐられない、と出産率の向上と乳

幼児死亡率の低減に總ゆる努力を致すとまで徹底した申合せを行ひ、實行してゐる。早婚の奨励は渡邊村長が陣頭に立ち、妊婦の登録や乳幼児の育成指導には茂原の保健所や村駐在の保健婦末吉さんが當つてゐる。健康指導地区だけにいへば、保健設備も次ぎ次ぎと設けられ、保健婦の活躍は、字から字へ自轉車を飛ばせて、家庭への巡回指導や田圃の畔にまで延びて、戦時下、人口増強の積極的な努力が續けられてゐる。

「どうですか、赤ちゃんの具合は？」
「あのね、この子は、けふで二日はかり便がないで心配してゐます」
「そりや、いけませんね。後で深層して上げませう。下痢はなるべく用ひないやうにね……」
食糧増産に挺身する農村の妊婦は、もう二、三日のうちに生れるといふのに田を耕してゐる。保健婦の末吉さんはそこまで出向いて、除り長時間に入つてゐないやうに、また除り通勞に陥らないやうに細かく注意を與へてゐます

健康運動



↑「赤ちゃんハムツガリマセンカ」けふは茂原保健所から北原先生が出張して村の乳幼児健康相談を行つた



先生の診察具を指取りして、赤ちゃんは大元氣です。「どれ、よく肥えてゐるぞ」子供好きな先生は相好くづして喜ぶ



職場の健康を確保しよう

健民運動

東京芝浦電気芝浦支社



短い休憩時間を愉しく利用するために、女子工員には盆踊りを取り入れた健康体操が各職場で大はやり、村の鎮守の祭の夜を履上で

東京芝浦電気芝浦支社では、昨年四月東北地方、茨城、新潟の八縣から入社した電業小職士全員に對し十ヶ月にわたり厳重な健康診断をつづけて来たが、その結果、少年兵や、幼年學校生徒の入隊、入營一ヶ年後の成績に比し遜色のないことが、はっきり数字で現はれ、健康



少年工たちは交代で会社の園に二、三日を送る。わざ／＼電氣もラジオも置かないので、季節の野菜増産に熱を持つ少年の心は、體は、郷土のほほを五感でうれしく呼吸してゐる。少年たちは入社當時はお國別で、お國なまりの寮生活を送る。仕事になれると始めて職場別になる。郷里から送られる品物も、食べて悪いものはないかと、寮母がやさしく立會つて



管理の方法さへよければ少年の工場生活も決して心配のないことを明らかにした。今日では、大工場ではそれぞれ従業員のために作業環境の整備、體育、榮養、衛生、診察、豫防などの各施設を動員、従業員に健康管理にあたつてゐるが、この組織が健康實踐の主體となるだけ、これを運用する當事者の責任は重い。産業職士の疾病は生産力を低下する。生産力の低下は同時に戦力の低下だ。それだけに従業員の健康保持には、会社の幹部から一少年工に至るまで自ら實踐協力してゆかなければ、健民の効果はあがらない。また、設備のよ／＼のつた保健施設もその効果は利用如何にある。この組織と施設を、寮生活に、工場生活に、が／＼ちり具現してゆくことが大切なことだ。要は首の形式よりも一つの實踐が大切である。芝浦支社寮生活の活動の一部を窺いて見よう

工場體操は朝に晝に全工員で行はれるが、雨天の日などは保健衛生を向うと説明した紙芝居が職場をまはつて直接工員によひかけ、興味の中に健康保持に注意するやう教育してゐる

現在工場にある要保護工員は午後的一定時、職場から離れて休養する。先生は順次診察して健康確保の萬全を期してゐる





委員 藤田 三治さん
 藤田委員は、朝の健康体操の指導をしてくれ、町内で実行することを申合せませう。今日は藤田博士である加納町会長さん自ら紙芝居で結核予防のお話



母子保健委員 笠岡 一枝さん
 藤田委員は、朝の健康体操の指導をしてくれ、町内で実行することを申合せませう。今日は藤田博士である加納町会長さん自ら紙芝居で結核予防のお話



町内落部 健康民部を作らう

大阪府南区安内三町会 小石 影雄



結核委員 栗井 善吉さん
 栗井委員は名鉄的人の胸前にたがはず町内の衛生主義者金井君を遂に攻め滅ぼして枯木に花を咲かせました。今日はその慶祝の結核式です。会場は町会館内で厳守下らしく国民服とモンペ姿で簡素でけあるが、和氣調々の裡に進められました

この大戦争に勝ち抜くためには、何んといつてもまづ一人でも多くの強い兵隊さんを、かつちりした産業戦士を作り出すことが先決問題です

この目的をやり遂げるために今年も来る五月一日から十日間、全国に健康運動が逞しく展開されることになりました。一人でも多く強い子を産み、丈夫に育て、われわれも體を鍛へて、健康即健康の旗を立て高く押し立てて必勝の道を突進させよう

さて、決戦の年である今年からは、この健康運動を最も効果的に実施するため、いままでのやうに、政府や大政翼賛會がこの運動の推進者となるだけでなく、各町内會、部落會に健康民部を、各職域に健康民部を組織し、ちやうど防空その他の場合のやうに、隣組或いは職場の組織と和合の力で、いままでとは違つてぐんと強力な健康運動を展開することになりました。では、この各町内會、部落會に生れるべき健康民部とは、また、各職域に生れるべき健康民部とはどんな仕組にし、どんな活動をすべきものなのでしょうか。まづ健康民部から説明いたします

健康民部の組織 東京市のやうに町内會の組織が新しく整備され、その組織のうち健康民部の誕生が約束されたところはよいとして、さうした組織のまだ出来ない市や町内會および村の部落會には、こんど新

しく健康民部といふ組織を作りませう。そして、健康民部には部長を一人、その下に委員を数人置きませう。部長や委員は、町内會長或いは部落會長が、町内會員または部落會員のうちから健康民部に不當に力を入れてやうとする人を選任して下さい。各委員は、健康民部の各部門を担当するにふさわしい人であることが望ましく、その数は五、六名位が適當です。なほ、土地の事情によつて必要と思はれるときは、町内會聯合會にも健康民部を設けて差支へがなく、また従来これに似た組織、例へば、厚生會、衛生部などをもつてゐる町内會、部落會(町内會聯合會も同じ)ではその事業をこの健康民部に統合して下さい

健康民部は、隣組組織の中に新しく誕生する健康運動の實踐體ですから、たゞ部長や委員の頭数だけ並べてそれでよいと考へては、根本からその趣旨にそむくことになりませう。まづまづも實行のたすの組織を作りませう

健康民部の活動 健康民部で實行すべきことは、原則として健康運動にとりあげられてゐる全項目にわたつてゐます。即ち、

- 一、結婚及び出生増加の奨励
- 二、母子保健及び保護
- 三、體力検査、健康診断及び結核、その他傳染病の予防
- 四、武道、體操、修養等
- 五、樂業の改善



健康委員
石川 圭一さん



栄養改善委員
村井 美代子さん
(家政科 徳島県立女子短期大学出身)



生活刷新委員
田北 一治さん
(前陸軍少佐)



六、環境衛生
七、その他 貧窮削減なる國民生活の確立

といつた多方面にわたつてを、健康部のなすべきことは山のやうにあふれかけです。これを一つ／＼實行に移して、町内または部各各體の面倒を見、一人残らず健康運動に参加させることは、なか／＼容易なことではありませぬ。しかし、そこは部長及び委員の熱意、町内及び部各體のものが集つて、ひとりではないといふ自覺と協力の力が手助けされ、きつしめさるべき結果を期せしめたいと思つておられます。

この場合、部長となり、委員となる人は最初からあまり理想に走ることはなく、誰でも容易に始められる手近なことから實行に移すこととし、荷も重く、地味も費つたことは決して後戻りのないやうに心掛を指導しなくてはなりません。あせらず、理想に向つて着々と健康の戦果を収めてゆけば、やがて日本の戦力増強に大きな貢献となるものと信じ、新しく健康部を作られる皆さんのために、健康部の組織は、その活動は、どんな風であるべきかのお手本を大阪市南区内安堂寺橋通三丁目町會の人たちに實演して頂きました。これを参考に力強い皆さんの健康部を作つて下さい。

五月の常會

一 農繁期を増産で勝ち抜きましょう

今月の農村は食糧増産の戦場です。農家は、米も、麦も、甘藷も大増産を見事にやりとけて、食糧戦に勝ちぬきましょう。

イ 苗代では病虫害の防除を十分に行ひ、田植の時には土地に適した品種を選ぶこと。これまでに疎かに過ぎたところは、出来るだけ補植につとめること。

ロ 麦の白粉病、銹病、赤穂病は手おくれせぬやう、すぐに取り除くやうにつとめること。

ハ 甘藷の植付は時期を遅らせぬことが大切で、大麥の成熟期は日位前が適期です。増産肥料・草木灰を澤山施して、一段落り千貫をやらせてあげること。

ニ 田植も、麦の手入れも、甘藷の植付も、出来るだけ作業は共同でやり、また秋事も近頃も共同にしよう。

二 二百七十億貯蓄達成に邁進しましょう

本年度の貯蓄目標額は二百七十億円で、戦費をまかなふ決闘貯蓄です。一人一人残らず準備を揃へて、新目標目指して邁進しましょう。

イ 新しい目標額に基づいて部會、町内會を組織して、それぞれ一年分の國民貯蓄組合の貯蓄額と國債債券の割當額を決定し、みなさんに十分徹底させること。簡易保険の一億新加入運動が五月中には行なわれます。

三 決戦下健康運動を徹底させよう

健康運動は皇國民族力發展の基です。五月一日から十日まではこの運動が強調されます。

喜に溢るメダン市

☆ 新生日一周年記念日 ☆

スマトラ全島の指定なつて早くも一年、去る三月十三日は、北部スマトラの無血上陸に成功した皇軍が首都メダンに堂々進駐、『神兵来る』の大歓呼とともに現地住民に迎へられた記念すべき日である。

メタンではこの日をスマトラ新生一周年記念日として、メタン市を中心として、十三日より十五日まで三日間に亘つて盛大な記念行事を實施、一年前、皇軍の手でオランダの施政から解放された日を祝賀するとともに、ますます皇軍に協力してスマトラ建設に邁進し、あくまで大東亞戦争を完遂する決意を新たにされた。

寫眞は、このほど現地軍報連隊によつてもたらされたその日の賑はひであるが、現地住民が心からこの日を喜び誇み合ふ姿に、躍進するスマトラ建設の一端が窺はれよう。

市中の行進の先頭を率ゐるメダン市議の副議長人官史



記念式典にケルタンの講演。相模二連隊に邁進せんことを誓ふ



指の花盛り娘の瑞姿にも喜びは溢れこぼる

撮影 木下陸軍報道班員



インド人の指導で進駐したメダン市議の副議長人官史



本島視察に見せしめたい姿



メタン進駐一周年の前進を記念する児童の行列

その名をうたげたいメダン市代田通の賑はひ

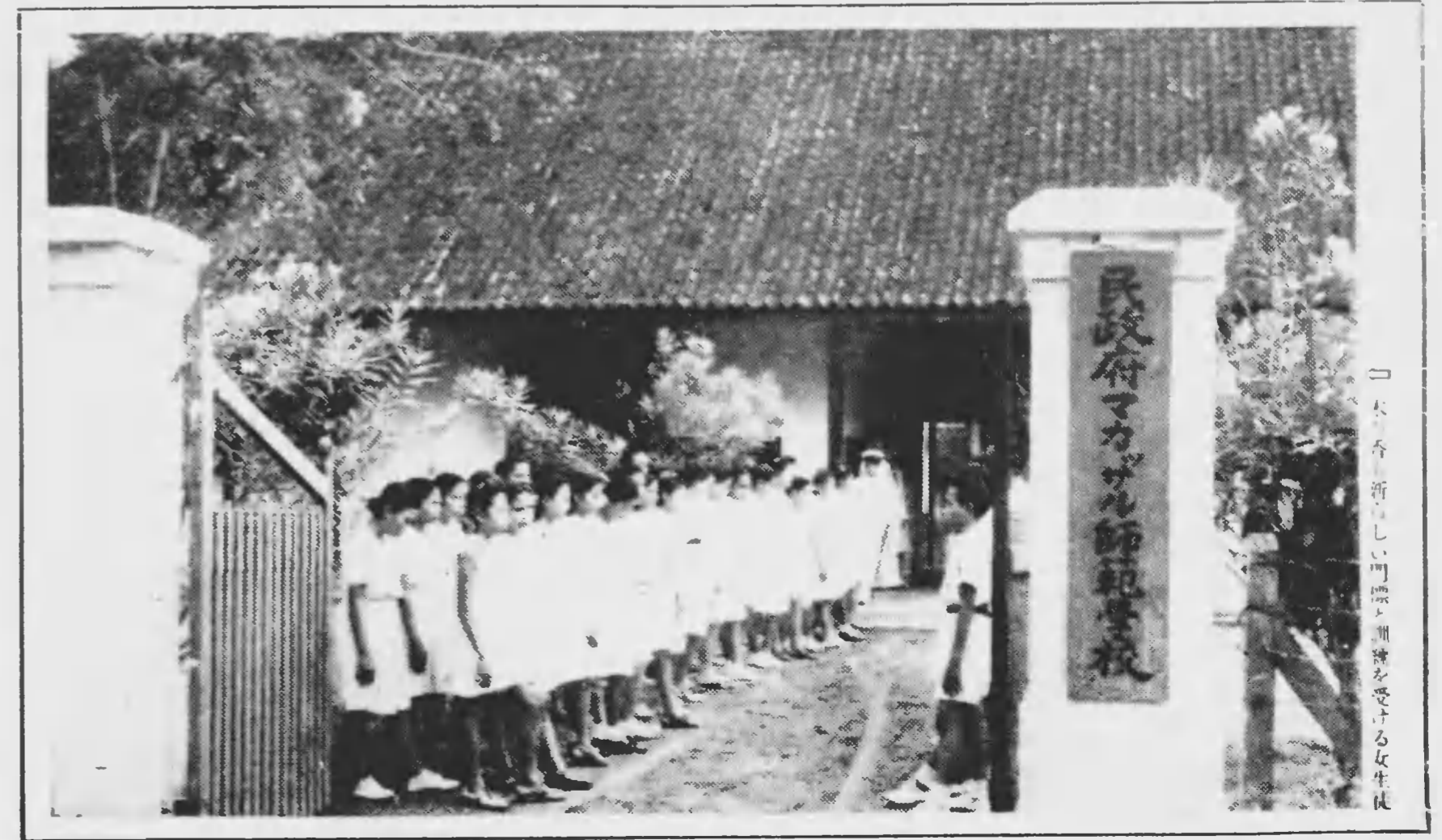
マッカサル

建設使り

南方各州の現地建設は、早くも卓風を靡いて新しい建設地を拓くことは、ここに心強い限りである。今日は、マッカサル建設の第一歩である。

その一、建設地は、マッカサル建設地である。建設地は、マッカサル建設地である。建設地は、マッカサル建設地である。

その二、建設地は、マッカサル建設地である。建設地は、マッカサル建設地である。建設地は、マッカサル建設地である。



日本各州の建設地を拓く建設地



三少年

吉越等

或る日、マセール島クレーパンの宿営地に三人のインドネシアの少年がやつてきた。

愉快さうな少年の風貌と、どこか悲しみを湛へた少年の面立ちに、私は心惹かれた。二人の少年は兄弟で、兄は十五歳、弟は七歳、父母、姉と五人の生活をいまだ離れ所のある部落で営んでゐるが、米も豆も乏しく非常に困つてゐる。他の一人は友人であるが、三人ともどんな用事でもするから使つてくれないなどと、手振りや現地語で、少年たちはひどく真剣な顔で私たちに傳へようとするのであつた。

勿論、私たちが彼等に頼む用事はないけれど、また頼むわけにもゆかないと、私たちはこの少年たちを、また彼等が力強い民衆の上を越つた激しい嵐のことを思ひつゝ、ひたすら同情の思ひを寄せると、よりよいかい一方がなかつた。丁度黄昏で、彼等も少しばかり出たので、まだ立ち去り難く私たちの姿を遠く眺めてゐた少年たちと、私たちが聞き知つてゐる彼等の風習のやうに、指を使つてうまさうに食べ始めた。

この日から、少年たちは私たちに、はげしく話をするやうになり、親しみは加はつた。私たちはこの少年

から火ぎのやうなことを聞いた。私たちの使用してゐる宿営地の建物は、戦争がこの地を襲ふまでは二人の兄弟の家であり、父親は宿営地の前にコンクリート道をめぐらしてゐる刑務所の看守長であつた。友人である少年は、南洋兵との混血で、父親は少年が生れ出る前、ててて行方をくらましてしまつた、といふことである。

少年が彼を掴まへて、オーストリ、オーストリ、かかふことの意味も、うなづけるわけだ、そのやうなとき、少年の悲しげな顔も、泣き出し、と私たちがまで訴へかけようとする表情も、殊更に胸を打つた。



私を見上げる少年の眼は、は、これだけの言葉の端から、喜の心を一杯に用ひ、うなづかうなまかい色が滲み出た。

「私たちがこの家が空家だつたので一時借りたが、またいつか君たちに返すときがある。戦争が終ればね。」

「私たちがこの家が空家だつたので一時借りたが、またいつか君たちに返すときがある。戦争が終ればね。」

「私たちがこの家が空家だつたので一時借りたが、またいつか君たちに返すときがある。戦争が終ればね。」



明くるは戦 (六) 真実 週報 隣組の戦時農園を訪

ふ

もと、この土地は全くの荒地で、豊作農草が生え繁り、防火上地主さんが毎年金をかけて草を刈つておたところ。地主さんがよい人で優良隣組ならいよ条件で借りました。最初三百坪位開設する積りが、現在は千二、三百坪になつてゐます。自慢は止めますが、昨年の夏などは野菜には全く不自由せず、出征家族連族、それから家族の多い家などに分け分けて贈分喜ばれました。何分茄子などは毎朝五十位づつはもいでおましたから、健康には勿論、皆で仲よくやつてゆける喜びなど、口では言へない位です。……隣組の人たちはこも語る

それくお重食を持ちよつて楽しいひととき、和やかな心と心が結びついて、防空にも、貯蓄にも力強く働き抜いてゆく



報告が何時命令されるか分らない今日この頃、物見遊山などにのめく進出して「敵前作業」の汚名は誰しも受けたくない。でも、たまの休みを一日中家にこもつて、腐つてる手はあるまい。映画にでもゆかか。しかし、あの人込みみちやア健全娛樂とも言ひかねる。それに坊やが可哀さうだ。はて、何かみんなで仲よく楽しく、そして明るく明日の戦力を貯へる方法はないものか……考へあぐんだ「真実週報」は、よいと隣組の空地利用、いや戦時農園の経営を思ひつきました。さうだ。早速真実週報を「真実週報」は東京市の戦時農園係の戦時農園で、淀橋区下落合三丁目町會第十七部の隣組戦時農園を訪れてみま

した

なほ、市では食糧対策の一環として、帝都の全空地を總動員してこの戦時農園化を圖つてゐますが、防空緑地の設定などで早速利用できる空地が増大する見込から、已に戦時農園開設分園を設け開設推進員を置くなどして、空地開設に拍車をかけてゐます。食糧その他の事情が殆んど同様だと考へられる五大都市、または中小都市でもこれにならひ、隣組の戦時農園経営で「明るく戦はらう」と、前進しようではありませんか。

(かうしたあなた方の戦時農園の経営ぶりも、緑の週報へ感嘆して下さい。メ切四月三十日)

農園開設を区分別に登録すると分園員になるわけですが農研資材、種子などを組織的に配給してもらへます。また願ひ出れば戦時農園係の係員自ら、また開設推進員が喜んで常會などに出陣してくれます

新しい下宿のお母さん



電力やガスの節約に協力しようなどと、学生が實踐すべき臨時生活の基準は、学生委員会で決定し、各大学の学生陣は常会を開いてその實施要領を懇談する。學生の陣常會



母と學生の會に小笠原理事を訪ねた林君は早速宿舍の輪旋を申し出した。身上相談



林君の希望と先日の調査で合格した満田家に、けふは林君を同伴して改めて預かつて置くことをお願いする。宿舍の輪旋



自分たちが責任を以て面倒みてゐる學生が病氣で入院した知らせに、小笠原さんはとるものもとり合へず見舞つた



戦時下に、有能な青年を一人も過ちなく社會に送り出すことが、戦後家庭婦人の大きな國家奉仕である。と母の立場にある財團法人『母と學生の會』では帝都において勉學する大學生を都會の惡風から護る目的で、宿舍の輪旋から身の上相談、またはこの學生たちを預かる下宿の主婦たちを新しい母として鍛へる指導にまで乗り出してゐる。この會の世話によつて宿舍の輪旋を受けた學生は千餘名の多き上つてゐるが學生の生活は、會と學生の代表者によつて形づくられてゐる。學生委員會において『われら何をすべきか』と學生の臨時生活の基準が定められ、各大學單位に組織されてゐる學校陣常會を通じて實踐に移してゐる。一方、學生を預かつた『新しい都會の母』はわが子のつもりで諸事家庭的に世話をする。食事は必ず家族とともに、酒、煙草はなるべく禁するやうに仕向け、自由放蕩を戒めしめる等々心から優秀な國家の指導者養成をめざして温かき母の愛情を傾けてゐる。

林君は全く家族の一員となつて、何へたてなく満田さんに相談もし、満田さんも亦わが子同様に此れもすれば、よいお友達にもなる。

大東亞戰爭漫遊日誌
金田 用石



英印二軍師帥の袋鼠



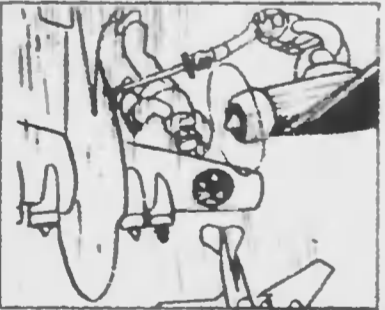
敵高船を東一をガリツに沖に源



大あさき七〇〇の高地の征服だ



皮肉代表自衛隊の砲に砲



ユージンア上機の戦果



ユージンア上機の戦果



ユージンア上機の戦果



昭準器
明朝に鍛へよう

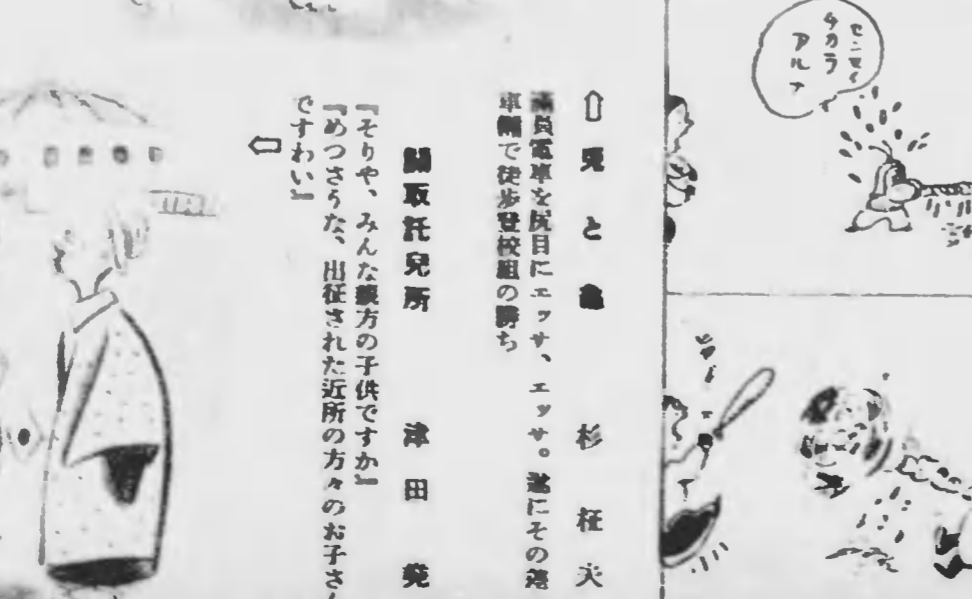
道は近きに
小泉 素郎
達成といへば仰々しくたり
ちだが、こんなのはどうす
工員は働きの出動時に、必ず門
柱の端で顔を洗はれたし



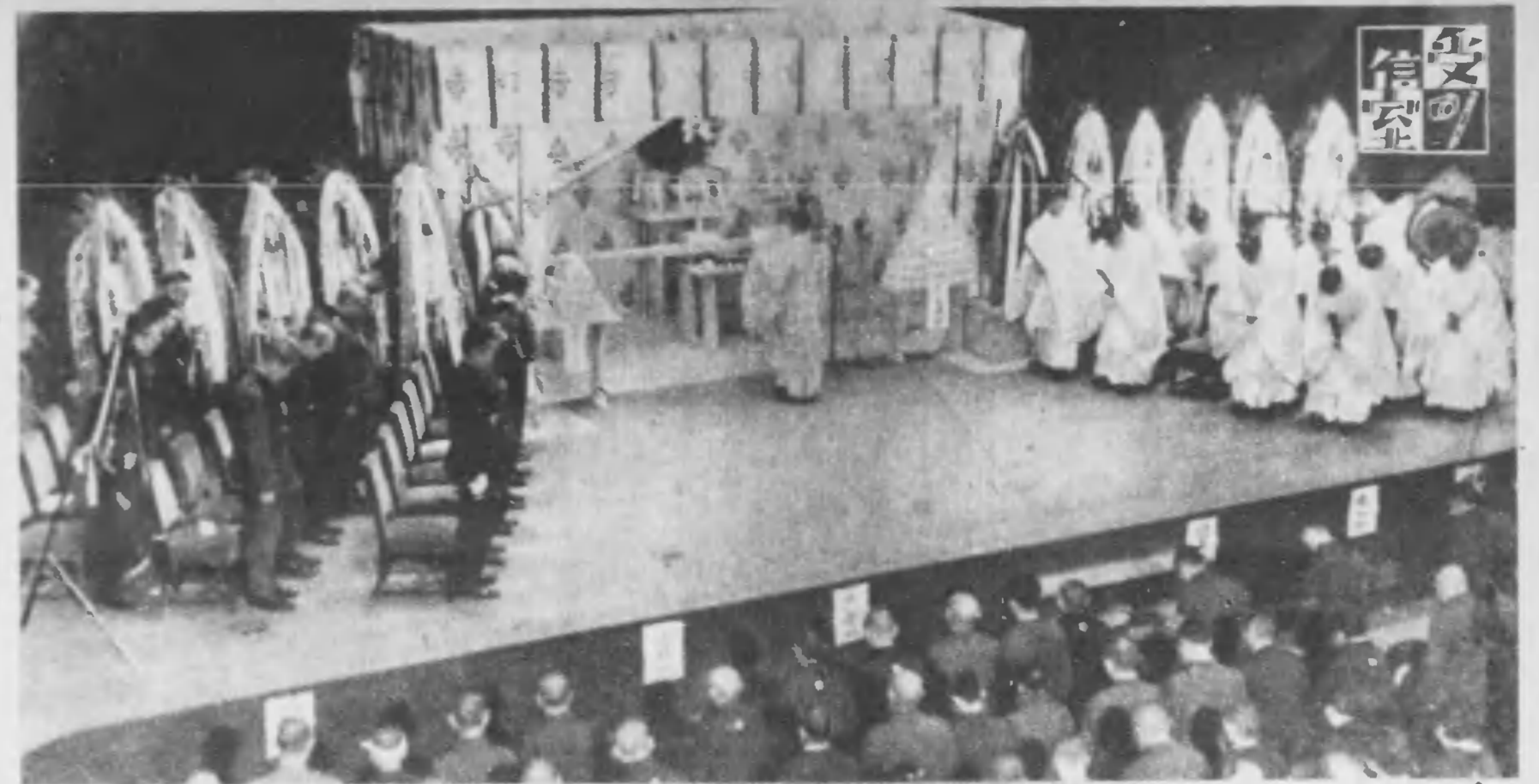
新橋行旅
白と黒の神話と語りよ、あまのこの子の地蔵も
お参りを忘るな



家族総出動
南 義郎
「押し合ひ、押し合ひ、押し合ひ、
何も遠くへ行く必要はない
けふは隣組全員の防衛訓練成
會だ
「それ、ひたすら汽車サッポ
がなれば」



幸チン先生
北支隊連軍 小坂井秀雄
「東と西 杉 狂 犬
職員電車を見目にエッサ、エッサ。遂にその連一
車輦で徒歩登校組の勝ち
關取託兒所 津田 勇
「そりや、みんな親方の子供ですか」
「めつさうな、出征された近所の方々のお子さん
ですわい」



大日本産業報國會
熱烈な報國の一念に燃えつゝ、生産報國
の志と戦つた六千餘柱の靈を弔ふ奉養主
體第一回殉難英人慰靈祭は四月十一
日東京より京葉線御下賜の光榮に輝
く中に、東京神田共立講堂で厳かに執り
行はれた。この朝、まづ講堂前に参集し
て感謝の禮拜を行つた遺族たちは、平生
會長の祭詞をはじめ、小泉厚生大臣ほか
多數來賓の切々たる慰靈の辭に、遺志を
らけつく生産報國の固き決意を新たに
した
千數百の多數参列者の前に追悼の祭典は
進められた
宮城前から出陣場に向かう遺族の中
には朝鮮服の未亡人もまじつて左中
天津に渡渡の日本報國連軍 北支隊連軍
天津日本租界の歴史的な巡遊式は國府
禮堂、東北政務委員會成立三周年記念日
の三月三十日、午前十時から天津日本公
會堂において厳に行はれたが、この日
の天津全市は、日本の大英断に對する
感謝の祝、官民市街大行進などに、
慰靈祭の一色に染りつぷされた



本田總領事より租界返還目録を受ける王天津特別市長
感謝祝賀會場にてあられた市長大禮堂
★表紙
むつちりと、赤んぼながら
にたくましい未來の兵隊さん
目方もぐつと増えました。子
供を丈夫に育てることはお母
さんの悦びであり、國の悦び
です。健康強兵の育て親とし
て、今日ほどお母さんの健命
が重大なことはありません
訂正 本誌前號(四月二十一日發
行)第六頁の寫眞説明の中に「傷
損軍人徽章」とあるのは、正しく
は「軍人傷損徽章」といふべきに
つき、こゝに訂正いたします
軍事 係 係長 小坂井秀雄

あり手切丸弾に我々強い



一枚 二円

第十二回賣出 五月一日⇨十五日
 抽籤 五月二十日
 増割 金 一等千圓・二等百圓・三等五圓・四等二圓
 當籤 率 十一枚ニ付一枚

抽籤のすんだ切手は五枚以上まとめて郵便局へお差出しの上、特別据置貯金
 證書と引換へて下さい。

寫眞週報 昭和十八年四月廿八日發行 (第百二十九號)

内閣印刷局印刷發行

前續懸問に本誌を お読みになつたら本 誌を前懸懸問に送り ませう。送料は内地 と同様で帯封あるひ は開封にして第二種 と明記すれば、一部 一投です。	所 申 定 所 達 申 定 寫眞材料店 新聞販賣店 書店・賣店 販賣所 全國各地官報 所	價 定 ▲特大號の場合は 其の都度御拂込 金より差額を申 受けます。	一部十錢 (送料一錢) ▲外埠郵送には依 る地域は送料 共一部十九錢 ▲應約配達御希望 の方は一部十錢 (送料一錢)の割 合を以て前金を 添へ御申込み下 さい。	寫眞週報 (禁煙版) 昭和十八年四月 廿八日 印刷發行 編輯者 情報局 東京市豊町一ノ 水田町一ノ一 印刷者 内閣印刷局 東京市豊町風子町
---	---	--	--	---

(列格欄) A4格定幅は23大の書本)